

2022年度
横浜国立大学交換留学（派遣）
募集要項
（二次募集）

2021年11月26日

横浜国立大学国際戦略推進機構

2022年度横浜国立大学交換留学（派遣）募集要項（二次募集）

2022年度に海外の協定校へ派遣する学生の募集を行います。

1. 対象期間

2022年度中（2022年4月から2023年3月まで）に開始する交換留学（派遣）を対象とする。

※派遣期間は、3か月以上1年以内の協定校の学期単位とする。

※派遣開始月は大学によって異なる。別紙「2022年度 交換留学（派遣）対象大学一覧」を参照。

2. 対象協定校

別紙「2022年度 交換留学（派遣）対象大学一覧」のとおり。

3. 応募資格

次の要件を全て満たすこと。

- (1) 学業成績・人物共に優秀な者。
- (2) 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者。
- (3) 応募時に本学学部又は大学院の正規課程に在籍しており、協定校が定める願書提出時から留学期間を通じて本学学部又は大学院の正規課程に在学する者。なお、応募時に休学している者は渡航する月の1日までに復学し、在学証明書を留学交流係に提出すること。※協定校によっては願書提出時に在学証明書の提出が求められる場合もあるので、その場合は願書提出時までに復学しておくこと。
- (4) 希望先大学が定める要件を満たしている者。
- (5) 派遣先における学修及び生活を十分に行うことができる語学力を有する者。

4. 語学要件

語学要件は希望先大学によって異なるので注意すること。

語学能力証明については学内選考応募時には受験日が 2020年1月1日以降のスコアのみ有効。なお、派遣先大学申請時に語学証明書の有効期限（2年）が切れる場合は再受験し、派遣先大学が定める語学要件を満たさなければならない。

派遣先大学での履修言語	語学要件
(1) 英語	下記①②のうち高い方のスコア ①TOEFL iBT 70 以上、もしくは IELTS 5.5 以上（アカデミック・モジュール） ②希望先大学の求める TOEFL iBT のスコア、もしくは IELTS のスコア ※ただし、別紙「2021年度 交換留学（派遣）対象大学一覧」の「TOEFL ITP」欄に丸印のある協定校については、TOEFL ITP 500 のスコアも有効。 ※TOEFL iBT Home editionのスコアも有効。しかし申請時には協定校の要件を満たす必要がある。
(2) 英語以外の言語	(A) ～ (C) のうち、派遣先大学での語学要件、または授業が履修できる語学レベルを所持していることが証明できるもの (A) 語学検定試験の成績（仏語検定、独語検定、HSKなど） (B) 語学学校等の修了証書等 (C) 外国語の履修証明（本学成績証明書に明記されたもの）

5. 応募書類

授業支援システム 授業科目名：交換留学（派遣）募集関係資料[XRJ0Y99]の中に書類が掲載されているので、ダウンロードして入力し、応募期間中にアップロードすること。

提出書類	様式	提出形式
(1) 2022交換留学派遣応募ファイル	応募ファイル YNU-10	Excel データ
(2) 成績証明書	日本語版	PDF
(3) 語学能力証明書		PDF
(4) 誓約書	様式 YNU-14	PDF
(5) 所属部局に求められている書類等		PDF等

(1) 2021 交換留学派遣応募ファイル

- ① 「2. 入力シート（応募時）」の D 列にすべて入力する（F 列記入例参照）。
- ② ①で入力した内容が「3. 学内申請書」にすべて反映されていて 1 枚に収まっているか確認する。2 枚以上になる場合は「2. 入力シート（応募時）」に戻って字数等を調整する。
- ③ 「4. 留学計画書（応募時）」を入力する。
 - ・「留学を希望する理由」及び「留学計画の概要」は派遣先大学での学修で使用する言語で作成すること。
 - ・英語以外の言語で作成する場合は、日本語訳を別紙に作成し添付すること。
- ④ 「5. 履修予定科目リスト」を入力する。
 - ・希望大学のウェブサイト等で履修予定科目を調べて記入する。「5. 【記入例】シート」を参照する。
- ⑤ ファイル名を「2022交換留学派遣応募ファイル_学籍番号_氏名」に変更し、Excelデータのまま提出する。

(2) 成績証明書

「個別成績表」ではなく「成績証明書」（日本語版）を PDF化して提出する。

(3) 語学能力証明書

- ① 派遣先大学において英語で学習する場合
 4. (1) のとおり。応募時はスコアの表示されたウェブサイトの表示でも可。氏名とスコアが確認できるものを PDF化し提出すること。
 - ※候補生となり協定校への手続きをする際には原本が必要となるため、原本を提出できるように準備しておくこと。
- ② 派遣先大学において英語以外の言語で学習する場合
 4. (2) のとおり。氏名とスコアが確認できるものを PDF化し提出すること。

(4) 誓約書

内容をよく読み確認したうえ、自筆で署名し、PDF化すること。

(5) 所属部局により求められている書類等

6. 提出期間

2021年12月7日（火）午前8時30分～12月21日（火）午前11時

（提出期間を過ぎた場合はいかなる理由でも受付不可）

7. 提出先

授業支援システム 授業科目名：交換留学（派遣）募集関係資料[XRJ0Y99]

「応募書類提出」レポート教材からアップロードすること。

※提出期間中は差し替えが可能。期限後は書類の差し替え及び返却ができないため、よく確認の上、提出すること。

※6種類以上の書類を提出する場合は、「応募書類提出②」にアップロードすること。

8. 選考結果について

2022年1月18日（火）午前11時（予定）に派遣候補生を7. の授業科目内に掲示する。

※学業成績、申請書類、語学力、面接等により総合的に判断の上、選考が行われる。

※最終的な留学許可の決定権は派遣先大学にあり、本学で派遣候補生に決定しても派遣先大学からの受入許可が得られず留学できなくなることもある。

※また、誓約書記載事項を守れない時、応募要件を満たしていないことが判明した時、その他留学が適当でないと本学が判断した場合は、候補生となった後でも派遣できなくなることがある。

9. その他の条件、留意事項等

- （1） 授業支援システム 授業科目名：交換留学（派遣）募集関係資料[XRJ0Y99]の中に、「交換留学（派遣）について」というビデオ教材と「交換留学説明資料」が入っているので、応募前に必ず見ておくこと。
- （2） 留学期間は本学の修業年限に通算され、条件を満たせば本来の修業年限で卒業・修了することが可能である。
- （3） 派遣先大学では所定の要件を満たした場合は単位が付与されるが、本学での認定については各部局によって取扱いが異なるので、事前に相談しておくこと。
- （4） 原則として、派遣先大学では専攻分野に関係する授業を履修すること。
- （5） 応募までに指導教員等に相談してアドバイスを受けておくこと。また留学にかかる費用を含めて、留学について両親等家族と十分に話し合い、理解を得ておくこと。
- （6） 大学院生については 2021年12月1日（水）までに本学国際教育課留学交流係にメールで相談し、確認をとること。また、応募前に留学計画等について、指導教員の下承を得ておくこと。
- （7） 本学各部局指定の応募資格・条件を別紙「2022年度 交換留学（派遣）応募にあたっての部局別確認事項」で確認すること。

- (8) 協定校によっては、交換留学生は受入れを行っていない専攻や履修できない科目もある。また、協定校の定める受入基準、語学要件、申請締切、協定校情報等は予告なく変更されることがある。各協定校のウェブサイト等で最新情報をよく確認の上応募すること。
なお、協定校へは交換留学コーディネーターを通じて連絡を取ることにしているため、候補生となるまで協定校へ直接コンタクトを取らないこと。
- (9) 別紙「2022年度 交換留学（派遣）対象大学一覧」で「要相談」に◎印がある協定校については、2021年12月1日（水）までに本学国際教育課留学交流係にメールで相談し、確認をとること。
- (10) 留学に関する情報収集を十分に行い、帰国後の本学での学修や将来の進路も含めた目的と計画を持ち、応募者本人が申請書を作成すること。
- (11) 応募後の希望先大学・派遣期間の変更は原則として認められない。留学期間を決める際は、希望先大学のセメスター開始日と終了日（オリエンテーション期間等含む）、試験期間等をあらかじめ希望先大学Factsheetやウェブサイト等でよく確認し、渡航前及び帰国後の本学での学修計画や進路を含めて十分検討した上で、慎重に決定すること。
- (12) 学内応募後、候補生決定までの間にやむを得ない理由により応募の取り下げをする場合は、速やかに学務部国際教育課留学交流係へメール連絡のうえ、折り返しメールで送付される「2022年度 交換留学（派遣）応募 取下げ願」様式に記入のうえメール添付で提出すること。提出期限は 2022年1月12日（水）午後 5 時とする。
- (13) 候補生決定後は、原則として辞退は認められない。
- (14) 日本出発日から日本帰国日までの全留学期間中にわたり、本学が指定する留学保険（参考：2021年の保険料は約 10 万円／年（2022年の保険料は未定））及び本学が指定する留学サポートプログラム（会費：約 2 万円／年（2022年の会費は未定））に加入すること。（必須）
- (15) 交換留学（派遣）では派遣先の協定校に授業料を払う必要はないが、施設使用料等が必要となる場合はある。また、留学開始前の準備コースや付属語学学校での授業など、一部有料となるプログラムもある。
- (16) ビザの申請、寮の申請、航空券の手配など、渡航手続きについては各自行うこととなる。遅滞、漏れがないよう十分留意すること。なお、イギリスへの留学には、ビザ申請のため、認定テストセンターでの IELTS の受験が必要となることがあるため注意すること。
- (17) 候補生に決定した後、派遣先国又は地域が外務省によりレベル2「不要不急の渡航は止めてください。」に指定された場合など、派遣すること又は派遣を継続することが危険であると本学が判断した場合には、派遣中止又は途中帰国を命ずることもあるので、その場合は本学の判断に従うこと。

- (18) 派遣先大学で英語で学修する場合は、留学開始時まで TOEFL iBT 80、IELTS 6.0、TOEFL ITP 520 のレベルを取得しておくことが望ましい。
- (19) 派遣生、候補生は、派遣前オリエンテーションに参加すること、報告書等の所定の書類を遅滞なく提出すること、留学後に体験談の発表や作成を依頼された場合には協力すること。
- (20) 派遣生に決定した後、次のような場合は渡航直前や渡航後であっても、交換留学中止の勧告を行うことがあります。
- ・ 申告に虚偽があった場合
 - ・ 学業不振、または必須となっている講座等の参加姿勢が悪い場合
 - ・ 書類提出の締め切りを守らない、提出をしない場合
 - ・ 必要な手続きを行わない場合
 - ・ 派遣前オリエンテーションへの出席状況が著しく悪い場合、参加姿勢が悪い場合

別表1 交換留学候補生/派遣生/ 補欠候補生の定義

状 況	定 義
交換留学派遣候補生 (派遣候補生)	本学での学内選考により派遣先大学が内定した者
交換留学派遣生 (派遣生)	候補生決定後に本学から協定校へ推薦され、協定校での審査を経て、協定校から受入れ許可の通知を受領した者

別表2 2022年度交換留学（派遣）募集スケジュール

募 集	対象となる留学開始時期	応募受付期間
二次募集	秋派遣 (2022年7~10月) 春派遣 (2023年1~3月)	2021年12月7日~12月21日 午前11時
*二次募集<追加募集>	秋派遣 (2022年7~10月) 春派遣 (2023年1~3月)	2022年1月19日~1月25日 午前11時
三次募集	春派遣 (2023年1~3月)	2022年6月21日~7月5日 午前11時

*二次募集<追加募集>について

二次募集で部局により推薦されたにもかかわらず、候補生に内定できなかった者を対象に追加募集を行う。

二次募集の合格者発表後、授業支援システムにまだ募集人数が埋まっていない派遣先大学リストと、追加募集応募書類をアップロードする。応募資格は二次募集に応募したが不採用となった者。追加募集応募希望者は、指定の書類を受付期間中に提出すること。二次募集で提出済の応募書類、語学力、面接結果等を総合的に判断の上、決定する。

別紙

2022 年度 交換留学（派遣）応募にあたっての部局別確認事項

各部局で指定されている応募資格や推薦基準及び確認事項は次のとおり。

教育人間科学部、教育学部 教育人間科学科	別紙「選考面接について」のとおり。
経済学部	別紙「経済学部交換留学（派遣）推薦基準について」のとおり。
経営学部	別紙「交換留学派遣にあたっての追加事項（経営学部）」のとおり。 なお、応募書類と一緒に「交換留学派遣同意書」をPDF化して提出すること。原本は後に提出を求める場合があるので、保管しておくこと。
理工学部	別紙「理工学部交換留学（派遣）の推薦基準について」のとおり。
都市科学部	別紙「都市科学部交換留学（派遣）の推薦基準」のとおり。
国際社会科学府 （経営学専攻のみ）	別紙「交換留学派遣にあたっての追加事項（国際社会科学府経営学専攻）」のとおり。 なお、応募書類と一緒に「交換留学派遣同意書」をPDF化して提出すること。原本は後に提出を求める場合があるので、保管しておくこと。
工学府、理工学府	推薦基準は設けていないが、理工学府係と指導教員に履修や研究計画について相談の上、応募すること。

教育学部（教育人間科学部）・教育学研究科の学生で交換留学（派遣）を希望する皆さんへ

選考面接について

教育学部（教育人間科学部）・教育学研究科の学生で交換留学（派遣）を希望する方は、本申請の前に選考面接を行いますので、**教育学系事務部（学部生は学務係、大学院生は大学院係）**へ応募書類を準備（応募ファイルはExcel データのまま、他の応募書類はコピー（原本は保管しておくこと）とする）し、**令和3年12月7日（火）**までに申し出てください。書類を受領後下記の日程でZoomによる面接を行います。

記

【面接日程】

- 日 時：**令和3年12月13日（月）～12月17日（金）**の間のいずれか1日
時 間：昼休み（12時15分～12時50分予定（1人に対し15分程度））
※個別の面接日時は、**令和3年12月10日（金）**までにメールで連絡します。
※面接に欠席した場合は、棄権とみなします。また、原則として指定された面接日の変更はできません。
※面接の結果により不合格となった場合は、本申請をすることはできません。

【交換留学（派遣）応募上の注意】

交換留学（派遣）は、本学の海外協定大学で一般授業を受けることを想定した制度です。そのため、英語の場合はTOEFL iBT80～100以上（大学により最低基準は異なる）の語学力が要求されますが、それと同時に現地で何を学ぶのか、それを帰国後の勉学にどのように生かすのか、卒業後の就職や進学などに関連づけて考えておく必要があります。

また、非英語圏のフランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、ロシア語圏などに留学する場合は現地で日常生活を支障なく送るため、一定の語学能力が求められます。大学で初めて学んだ言語圏へ留学する時には、現地でも語学研修をしっかりと行い、その後に一般授業の履修という順序になることもあります。しかし、その場合でも留学を単に語学研修のためだけのものにしないよう、明確な目的や計画を持つことが求められます。

語学力と共に、留学先の文化や社会などを深く学ぶためにも、応募前に派遣先の国や地域の事情、および歴史や社会についての基本的情報を押さえ、派遣を希望する大学の授業科目やプログラムなどを調べるなどして、明確な目的を持った留学計画を立てておくようにして下さい。これらの項目は派遣留学の選抜において重視されます。

なお、教育学部（教育人間科学部）においては、GPA3.0以上を学部推薦の最低条件としております。GPAが3.0に満たない場合は、書類選考により不合格となりますので、その旨ご承知おきください。

【推薦のための最低条件】

G P A 3 ・ 0 以上

〈本件担当〉
（学部生）教育学系事務部学務係
（大学院生）教育学系事務部大学院係

【経済学部交換留学（派遣）推薦基準について】

経済学部では、本学部生を交換留学（派遣）生として推薦するにあたり、独自の基準を設けています。学内派遣基準と共に注意してください。

【経済学部派遣基準】

1. 国際性に優れていること。
2. 応募時の前学期終了時点での通算 GPA が 3.25 以上であること。
3. 派遣決定後に辞退等をした場合には、その後 1 年間は再応募を認めないことがある。
4. 非英語圏に留学する場合は、留学開始までに現地で使う公式言語の運用能力が日常会話に支障のないレベルにあることが望ましい。
*これを満たさない場合は、原則として現地での専門クラスは履修することができないこともある。
*留学を語学研修のためだけのものにしないよう、明確な目的や計画を持つことが求められる。

その他交換留学（派遣）に関する詳細は、経済学部で作成・配布している「Global Studies in Economics」を参照してください。

以上

経済学務係

2021年4月23日

交換留学派遣にあたっての追加事項（経営学部）

経営学部国際交流委員会

1. 応募時の通算 GPA を 3.0 以上とする。（3.25 以上が望ましい）
2. 応募時に保護者の同意書も提出する。（別紙「交換留学派遣同意書」）
3. 内定後の辞退並びに行き先変更は、原則として認めない。（※正式派遣確定は、派遣先大学の留学許可を得た時点となる。）
4. （平成 28 年度以前の入学者）3,4 年生の応募者に関しては、渡航前に学部並びに学科必修科目を修得済（または修得見込）とする。
（平成 29 年度以降の入学者）3,4 年生の応募者に関しては、渡航前に学部教育科目の必修科目を修得済とする。
5. コンタクト教員（ゼミ指導教員、もしくは 1 年生と 2 年生春学期の場合、リテラシー担当教員）からの推薦書（様式自由）も応募時に提出する。推薦書は任意であるが、できる限り提出することが望ましい。
6. 上記条件を満たし、かつ応募前に経営学部面接（注 1）にて合格した者のみを経営学部の派遣候補生とする。

注 1：国際教育課へ応募する前に、経営学部にて面接を行う。交換留学派遣希望者は、募集要項にある申請書類に記入の上、経営学部学務係に提出すること。詳細については、別紙 - 1 を参照されたい。

以上

交換留学派遣に関する同意書

横浜国立大学経営学部長殿

私は、以下の者の交換留学応募について下記の通り同意します。

記

派遣学生氏名：

学籍番号

1. 交換留学派遣への応募

2. 希望先大学名

第一希望：

第二希望：

第三希望：

第四希望：

第五希望：

※内定後の辞退並びに行き先変更は、原則として認めない。（※正式派遣確定は、派遣先大学の留学許可を得た時点となる。）

以上

年 月 日

保護者名： 印

理工学部の学生で交換留学(派遣)を希望する皆さんへ

理工学部交換留学(派遣)の推薦基準について

全学的な応募資格に加え、理工学部生の推薦基準を以下のように定めています。確認の上、申請してください。

応募時の直前学期終了時において、(1)および(2)の両基準を満たすこと

(1) 学業成績優秀の「基準」

通算 GPA:3.0 以上

(2) 修得単位状況の「基準」

学年を考慮して各 EP において判定

(平成27年9月4日 理工学部代議員会承認)

理工学部教務係

都市科学部交換留学（派遣）の推薦基準

都市科学部が定める以下の「1.」及び「2.」の基準を満たし、且つ、大学が定める「応募資格及び条件」及び「語学要件」を満たしていること。

1. 学業成績の「基準」

通算 GPA 3.0 以上

2. 修得単位状況の「基準」

学生を考慮して各学科において判定

2021年10月25日

交換留学派遣にあたっての追加事項（国際社会科学府経営学専攻）

経営学専攻国際交流委員会

1. 応募時の通算GPA を3.0 以上とする。（3.25 以上が望ましい）
2. 応募時に保護者の同意書も提出する。（別紙「交換留学派遣同意書」）
3. 内定後の辞退並びに行き先変更は、原則として認めない。（※正式派遣確定は、派遣先大学の留学許可を得た時点となる。）博士課程前期2年生の応募者に関しては、渡航前に選択必修科目を修得済とする。
4. 演習指導教員からの推薦書（様式自由）も応募時に提出する。推薦書は任意であるが、できる限り提出することが望ましい。
5. 上記条件を満たし、かつ応募前に経営学専攻長面接（注1）にて合格した者のみを経営学専攻の派遣候補生とする。

注1：国際教育課へ応募する前に、経営学専攻にて面接を行う。交換留学派遣希望者は、募集要項にある申請書類に記入の上、大学院学務係に提出すること。詳細については、別紙-1 を参照されたい。

以上

別紙-1

交換留学（派遣）応募に関する手続きについて

経営学専攻国際交流委員会

経営学専攻では、経営学専攻面接にて合格した者のみを経営学専攻の派遣候補生とするという定めに従い、交換留学（派遣）申請書類を国際教育課へ提出する前に、経営系教員と面接を行うことが必須になります。

下記の日程で面接を行いますので、必要書類と合わせて提出期限までに、面接希望日を大学院学務係<int.gakumu-all@ynu.ac.jp>宛てで提出してください。

【面接試験日程】 2021年12月14日～12月17日の間の昼休み（12-13時）。

- 【提出書類】 ①交換留学（派遣）募集要項で指定されている交換留学派遣応募ファイル
②経営学専攻「交換留学派遣同意書」
③面接希望日回答用紙

個別の面接日時は、授業支援システム掲示板及びメールで連絡します。諸事情により日程が変更となる可能性もあるため、掲示とメールをよく確認しておいてください。尚、面接当日、無断で欠席した場合は棄権とみなします。

以上

経営学部交換留学（派遣）面接希望日回答用紙

学籍番号： _____

氏名： _____

第一希望	第二希望	第三希望

奨学金について

(1) 日本学生支援機構（JASSO）による「海外留学支援制度（協定派遣）奨学金」

給付型奨学金制度で、奨学金額は月額 6～8 万円（派遣地域により異なる）。※2022 年度採択は未定
応募資格

- ①日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者
- ②JASSO の定める成績評価係数が 2.3 以上の者
- ③経済的理由により自費のみでの留学が困難な者

(2) 横浜国立大学国際交流基金による横浜国立大学学術交流奨励事業（交換留学派遣生奨学金）

希望者の中から選考の上、1人につき10万円（1回限り）を上限に奨学金として支給する。

※2022 年度に給付されるかは未定。

(3) ~~官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN～日本代表プログラム～~~

~~文部科学省による給付型の海外留学支援制度。~~

~~金額は渡航先及び家計基準によって異なる（月額 6 万、12 万、16 万）。~~

~~詳細はトビタテ！留学 JAPAN ウェブサイト参照（<http://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>）。~~

~~締切はウェブサイト上に記載されている日よりも早いので注意。~~

※2022 年度の募集は中止となりました。

(4) 日本学生支援機構（JASSO）による貸与型の奨学金「第一種・第二種奨学金（短期留学）」

希望者は、派遣候補生となったら速やかに留学交流係までメールで問い合わせること。

(5) その他の奨学金

JASSO による海外留学支援サイト等によって情報収集し、その他の奨学金制度を利用することもできる。

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

留意事項

※（1）（2）（3）を希望する場合は、応募ファイル YNU-10 に入力すること。

※それぞれ応募資格があるのでウェブサイト等で確認しておくこと。

※奨学金を複数受ける場合、併給を認めない場合があるので、奨学金を受ける団体に確認すること。